



2022年2月21日

全国食育推進ネットワーク みんなで食育推進フォーラム2022

SDGsと食育の関わり

— 第4次食育推進計画を見据えた新しい時代の食育とは —



食育を広める

東京農業大学 副学長
「食と農」の博物館 館長
上岡 美保

国民・地域・日本・世界の輝かしい未来に向けて

I 世界的な課題と私たち

◎未来の食はどうなる？

II 食生活の変遷と食をめぐる諸問題

◎私たちの当たり前（本来）の食生活はどう変化したか？

III 私たちの暮らしとSDGs

◎「食べごと」から広がる世界

IV 食育（基本法）のこれまでとこれからの食育

◎第3次食育基本計画から第4次計画へ

まとめ

同じ地球上に併存する 飢餓と飽食

世界の9人に1人(8億人)が栄養不足

過去5年間で6千万人近く増加(国連)

コロナウイルス感染拡大で更に増加の可能性も…

私たちの「飽食」は当たり前ではない
今、私たちがやるべきことは…？

私たちの食生活が当たり前でないことを
子どもから大人まで皆で共有することが大切

国連WFPの2019年の食糧援助量
420万t

日本で家庭から出される可食部分**261万t**
事業系の可食部分**309万t**を合わせると



570万t



世界の年間食料援助量の約1.4倍相当量を廃棄
私たちの食生活の在り方を考える必要があります

■世界の食料は今後どうなる？

マルサスの『人口論』1798年

**人口は幾何級数的に増加するが、
食糧は算術級数的にしか増加しない**

(人間はかけ算的に増えるが、食料は足し算的にしか増えない)



つまり、いつか食料が足りない時代がやってくる



今、それは現実味を帯びたものとなっている...

私たちは、これからどう行動すべきなのか...？

今、私たちに求められていること

◇2030年までに目指すべき世界 持続可能な開発目標(SDGs)



ロゴ: 国連広報センター作成

食の視点、農業と環境との関わりから考えなければならない

II 食生活の変遷と食をめぐる諸問題

私たちの当たり前(本来)の食生活はどう変化したか!?

昔



資料:江戸東京博物館HPより

農村風景
食の流通・加工
生活スタイル
食卓
食事内容
家族

今



※写真はイメージ

【家庭】 家庭料理・家庭の味 → 肉食

【地域】 郷土料理・食文化・伝統食 → 地産地消

【日本全体】 和食・日本料理 → 国産国消

しかし今、当たり前前の食が危ない!?

[家庭] 食生活の量的な変化

◇ 国民一人1日当たりの供給熱量の推移

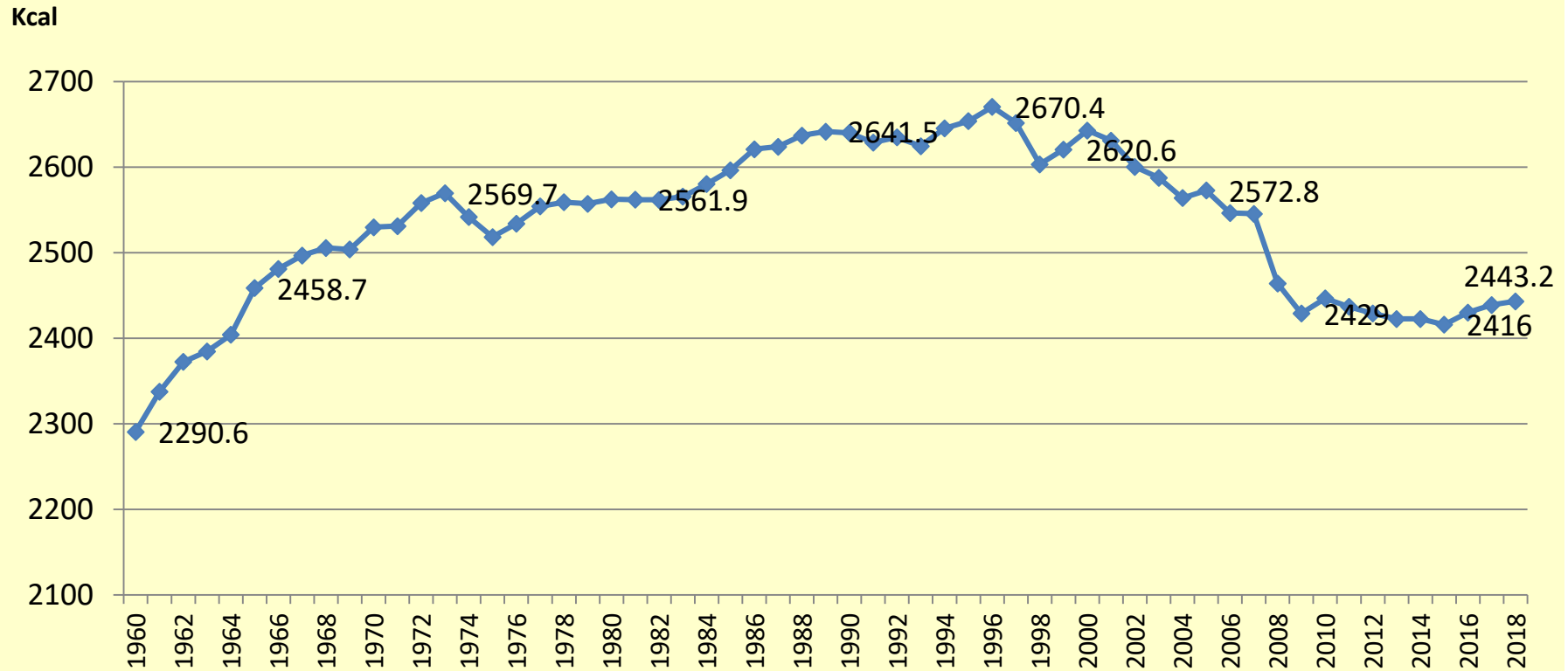


図 国民1人1日当たり供給熱量の推移

資料: 農林水産省『食料需給表』

資料: 農林水産省『食料需給表』

国民の食料消費が質的に満たされているかは別の課題